

叙勲 受章

おめでとうございます



吉澤 博通さん(池原)

瑞宝双光章
(教育功勞)



廣田 忠一さん(赤城原)

旭日単光章
(地方自治功勞)

前昭和村教育長の吉澤博通さん(池原)が、令和2年秋の叙勲で瑞宝双光章(教育功勞)を受章されました。

吉澤さんは、昭和45年に教職に就いて以来、平成20年3月に昭和中学校長を最後に退職されるまで、永きにわたり学校教育に多大な功績を残されました。その後は、村の教育委員や教育長を歴任され、村の教育・文化の振興に大きく寄与されました。また、社会教育においては、特にフェンシング競技の指導で世界レベルの選手を育てるなど、子どもたちの夢と可能性を広げてこられました。

吉澤さんは「教員として、自分に課せられてきた仕事を、その時その時で一生懸命にやってきました。特に、昭和中学校への統合の時は、教員と生徒が丸となって新しい学校づくりができて幸せでしたし、その後、校長としても携わることができ、少しでも村の教育に貢献できたことならありがたいです」と語りました。

元昭和村議会議員の廣田忠一さん(赤城原)が令和2年秋の叙勲で旭日単光章(地方自治功勞)を受章されました。

廣田さんは、昭和61年に村議会議員に当選以来、4期16年の永きにわたり在職。特に、平成6年から4年間は、副議長として議会の円滑な運営に尽力されました。その間、村総合福祉センター昭和の湯のオープンや、昭和インターチェンジの開設、これにあわせて建設された農産物直売所「旬菜館」を中心として、多くの消費者へ農産物を提供する販路を築くなど、村の発展に多大な貢献をされました。

12月21日、役場で堤村長から勲記と勲章の伝達を受けた廣田さんは「自分にとって最高の勲章をいただきました。これもひとえに村民の皆さまの温かいご支援の賜と心から感謝しています。これからも、元気でいられる限り一生懸命努力をして、できる限りの孝行をしていきたいと思えます」と述べました。

加藤正一さんが日展入選

日本最大級の公募展、改組新第7回日展(公社・日本美術展示会主催)が10月に発表され、加藤正一さん(常木)の書が入選しました。

入選したのは漢詩「春日江上」。現在、みなかみ町立新治小学校長を務める加藤さんは、10年前から書に取り組み始めました。以来、創玄展や準二科賞、毎日賞などを受賞し、日展は4回目の応募での初入選です。雅号は南風。加藤さんは「古典の書のイメージを大切に集中して書きました。賞に恥じないようこれからも精進したい」と語りました。



加藤 正一さん(常木)

改組 新 第7回日展(2020) 春日江上 加藤南風

【意味】晴れた春の川にばめが飛び、帆船が去つてゆく。春が訪れ南の浦にせりが美しく茂り、北の山にわらびが生えてきた。酔いが覚めて酔って言ったことを悔い、よいと思つてしたことも中年になり正しくないと考えるようになった。明日は孔子の弟子の曾点が言つたように春の衣服を着て、二人の子どもを連れ舞雩に遊ぼうと思つている。